

資料 1

※資料中のR4年度の実績値については、
決算認定前のため、決算見込みの数値
になります。

令和4年度業務実績報告書

令和5年8月
西宮市立中央病院

1. 令和4年度の決算状況

- 新型コロナウイルス感染症(以下「新型コロナ」という)の感染拡大の影響を受け、患者数が減少したことなどにより、入院及び外来収益は計画を下回り、医業収益は約45億7,800万円(計画比 ▲約5億1,300万円)となりました。
- 入院及び外来収益は、前年度との比較ではともに減少しました。
- 新型コロナ患者の入院受入や感染対策等に取り組んだことにより、新型コロナ関連の補助金が交付され、医業外収益は約18億6,100万円(計画比 +約12億円)となりました。
- 医業費用は、材料費の減少などにより約63億円(計画比 ▲約1億8,600万円)となりました。
- 純損益は約1,100万円(計画比 +約8億7,100万円)の黒字となりました。
- 単年度資金収支額は約1億7,600万円(計画比 +約4億4,000万円)の資金剰余を計上しました。

●収益的収支

※端数処理(四捨五入)の結果、総数と内訳の計とが一致しない場合があります。(単位:百万円。税込)

項 目	R4年度			前年度実績 (R3年度)	ｺｯﾁ禍前実績 (R1年度)	前年度比 (R4-R3)	ｺｯﾁ禍前比 (R4-R1)
	[実績]	[計画]	計画比				
病院事業収益 (A)	6,461	5,757	+704	7,116	5,268	▲655	+1,193
医業収益 (B)	4,578	5,091	▲513	4,669	4,516	▲91	+62
入院収益	2,497	2,824	▲327	2,586	2,440	▲90	+56
新型コロナウイルス患者分除く	2,278	-	-	2,312	-	▲34	-
外来収益	1,567	1,699	▲132	1,568	1,527	▲1	+40
その他医業収益	514	568	▲54	515	549	▲1	▲35
医業外収益 (C)	1,861	661	+1,200	2,405	748	▲543	+1,114
うち新型コロナ関連補助金	1,161	-	-	1,769	-	▲608	-
特別利益	22	4	+18	42	4	▲20	+18
病院事業費用 (D)	6,450	6,617	▲167	6,396	6,559	+54	▲109
医業費用 (E)	6,300	6,486	▲186	6,220	6,408	+80	▲108
給与費	3,281	3,336	▲55	3,199	3,417	+83	▲135
材料費	1,157	1,286	▲129	1,211	1,162	▲55	▲5
うち薬品費	765	849	▲84	793	781	▲28	▲16
うち診療材料費	382	427	▲45	409	372	▲26	+10
経費	1,419	1,417	+2	1,316	1,286	+103	+133
減価償却費	418	397	+21	472	516	▲55	▲98
その他医業費用	26	50	▲24	22	28	+3	▲2
医業外費用 (F)	109	115	▲6	134	132	▲25	▲23
特別損失	41	13	+28	42	19	▲1	+22
医業損益 (B-E)	▲1,723	▲1,395	▲327	▲1,551	▲1,892	▲171	+169
経常損益 (B+C) - (E+F)	30	▲849	+879	719	▲1,276	▲690	+1,306
純損益 (A-D)	11	▲860	+871	720	▲1,291	▲710	+1,302

●資本的収支

項 目	R4年度			前年度実績 (R3年度)	ｺｯﾁ禍前実績 (R1年度)	前年度比 (R4-R3)	ｺｯﾁ禍前比 (R4-R1)
	[実績]	[計画]	計画比				
資本的収入 (G)	273	544	▲271	400	1,673	▲127	▲1,399
企業債	61	0	+61	61	61	+0	+0
出資金	210	463	▲253	333	904	▲123	▲695
補助金	0	76	▲76	0	700	±0	▲700
他会計からの長期借入金	0	4	▲4	0	6	±0	▲6
その他	3	2	+1	7	2	▲4	+1
資本的支出 (H)	553	474	+79	731	980	▲178	▲427
建設改良費	78	60	+18	77	79	+1	▲1
企業債償還金	468	403	+65	644	886	▲177	▲418
その他	8	11	▲3	10	15	▲3	▲8
収支差引 (G-H)	▲280	71	▲351	▲331	692	+51	▲972

●各種経営指標など

項 目	R4年度			前年度実績 (R3年度)	コロナ禍前実績 (R1年度)	前年度比 (R4-R3)	コロナ禍前比 (R4-R1)
	[実績]	[計画]	計画比				
経常収支比率	100.4%	87.1%	+13.3	111.3%	80.3%	▲10.9	+20.1
医業収支比率	74.0%	78.5%	▲4.5	76.4%	71.5%	▲2.4	+2.5
職員給与費 ^{※1} 対医業収益比率	56.7%	52.0%	+4.7	54.6%	60.2%	+2.1	▲3.5
職員給与費 ^{※1} 対経常収益比率	40.3%	46.0%	▲5.7	36.1%	51.7%	+4.2	▲11.4
材料費対医業収益比率	25.3%	25.0%	+0.3	25.9%	25.7%	▲0.6	▲0.4
単年度資金収支額 ^{※2} (百万円)	176	▲264	+440	905	▲587	▲729	+763

※1「職員給与費」は、給与費から非正規職員の人件費等を除き、事務職給与負担金を加えて算出しています。

※2 不良債務削減に係る補助金 (R1年度：7億円) を除いて算出しています。

(参考) R5年度のプラン見直しを踏まえた経営指標

項 目	R4年度			前年度実績 (R3年度)	コロナ禍前実績 (R1年度)	前年度比 (R4-R3)	コロナ禍前比 (R4-R1)
	[実績]	[計画]	計画比				
修正医業収支比率 ^{※1}	69.9%	-	-	72.1%	67.3%	▲2.2	+2.6
職員給与費 ^{※2} 対修正医業収益比率	79.8%	-	-	76.3%	84.2%	+3.5	▲4.4
職員給与費 ^{※2} 対経常収益比率	53.5%	-	-	47.4%	68.0%	+6.1	▲14.5
材料費対修正医業収益比率	26.9%	-	-	27.6%	27.5%	▲0.7	▲0.6

※1「修正医業収支比率」とは、医業収益から他会計負担金を除いたもの (修正医業収益) を用いて算出した医業収支比率です。

※2「職員給与費」は、決算統計に計上している職員給与費(非正規職員の人件費等を含む)に事務職給与負担金を加えて算出しています。

2. 市 (一般会計) からの繰入金の状況

(1) 一般会計負担の考え方

- 公営企業は、独立採算制を原則とすべきものですが、地方公営企業法では「その性質上経営に伴う収入をもって充てることが適当でない経費」及び「性質上能率的な経営を行なってもなおその経営に伴う収入のみをもって充てることが客観的に困難であると認められる経費」については、地方公共団体の一般会計において負担するとされています。
- 令和元年度以前は、繰出基準の対象外となる設備投資等に係る企業債償還金や資金収支不足額の補填などについて一般会計から繰入れを受けていましたが、令和2年度以降、新型コロナ対応に伴う空床補償などの補助金を受け経営状況が改善したことにより、こうした基準外の繰入れを縮小することができました。
- 引き続き、経営改善への取組を継続し繰出基準の対象外となる一般会計からの繰入額の減少に努めます。

(2) 令和4年度の一般会計からの繰入金の状況

- 病院運営に関する「収益的収支」の繰入額は約8億8,100万円 (計画比 ▲約300万円) となり、計画よりも抑制できました。
- 投資に関する「資本的収支」の繰入額は約2億1,000万円 (計画比 ▲約3億2,900万円) となり、計画よりも大幅に抑制できました。
- 全体で計画よりも抑制できた要因としては、新型コロナ関連補助金の交付を受け経営状況が改善したことに伴い、繰出基準の対象外となる一般会計からの繰入れを行わなかったことが挙げられます。

●一般会計からの繰入金

(単位：百万円)

区分	R4年度			前年度実績 (R3年度)	コロナ禍前実績 (R1年度)	前年度比 (R4-R3)	コロナ禍前比 (R4-R1)
	[実績]	[計画]	計画比				
収益的収支	881	884	▲3	835	959	+46	▲78
基準外繰入金 [※]	0	12	▲12	1	98	▲1	▲98
資本的収支	210	539	▲329	333	1,604	▲123	▲1,395
基準外繰入金 [※]	0	304	▲304	0	1,149	±0	▲1,149
合計	1,091	1,422	▲332	1,168	2,564	▲77	▲1,473
基準外繰入金 [※]	0	316	▲316	1	1,247	▲1	▲1,247

※「基準外繰入金」とは、他会計から公営企業会計へ繰り入れる経費のうち「地方公営企業繰入金について」(総務副大臣通知)に

基づかない繰入金をいいます。

3. 新型コロナへの対応状況

【令和4年度の取組状況など】

- ・計4回の院内感染が発生し、発生病棟において入院制限等を実施しました。
- ・人員を効率的に活用し、新型コロナ患者及び一般患者の入院受入に対応するため、病棟体制を4病棟から3病棟体制に再編（一般病棟126床、新型コロナ患者受入病床最大25床、計151床）しました。
- ・市の集団接種会場の一つとして、新型コロナワクチンの接種にも取り組んでいましたが、市の集団接種事業が終了したことに伴い、中央病院においても集団接種は令和5年3月に終了しました。

●新型コロナに関する診療実績

項目	R4年度 [実績]	R3年度 [実績]	R2年度 [実績]	前年度比 (R4-R3)	前々年度比 (R4-R2)
入院患者延べ数	2,588人	4,067人	2,395人	▲1,479人	+193人
実患者数	217人	388人	339人	▲171人	▲122人
特別外来等 [※] での対応件数	2,630件	2,142件	1,284件	+488件	+1,346件
ワクチン接種者数	6,502人	10,474人	889人	▲3,972人	+5,613人

※「特別外来等での対応件数」は、発熱等で当院を受診し通常の診療枠とは別に対応した患者数を集計しています。

●新型コロナに関する取組実績など

年月	内容
R2年 1月	・発熱外来の運用開始
3月	・施設改修を実施し、発熱者等に対応する特別外来を設置
4月	・新型コロナ患者（中軽症）の入院受入開始
5月	・緊急事態宣言に伴い、不急の手術、人間ドックや企業健診などの健診事業を延期
6月	・正面玄関前での来院者に対する検温開始（7月からサーモカメラで測定）
8月	・県の新型コロナ重点医療機関指定に伴い、5階病棟（地域包括ケア病棟）を感染患者専用病棟化 ・入院前PCR検査の実施（入院を伴う手術前の患者から開始し、順次対象を拡大）
12月	・院内感染の発生に伴い、入院制限等を実施
R3年 2月	・新型コロナ患者（疑い含む）と接する業務に従事する職員に定期的にPCR検査を実施（2～3月）
3月	・市の集団接種会場の一つとして、新型コロナワクチン接種を開始
5月	・新型コロナ患者の受入病床数を増床（14床→20床）
6月	・新型コロナ患者の受入病床数の増床に伴い、一般病棟の稼働病床数を縮小（144床→107床） ・入院前PCR検査の対象を拡大し、新規に入院する患者全員を対象に実施
9月	・新型コロナ患者の受入病床数を増床（20床→25床）
10月	・新型コロナ患者以外の入院受入に対応するため、一般病棟の稼働病床数を拡大（107床→111床）
R4年 1月	・新型コロナ患者以外の入院受入に対応するため、一般病棟の稼働病床数を拡大（111床→127床）
3月	・西宮市消防局（救急隊）からの新型コロナ検査依頼への対応 （当院で受入不可な症例であっても検査のみ実施し、救急搬送の円滑化を支援している）
8月	・院内感染の発生に伴い、発生病棟において入院制限等を実施
11月	・院内感染の発生に伴い、発生病棟において入院制限等を実施
12月	・人員を効率的に活用し、新型コロナ患者及び一般患者の入院受入に対応するため、病棟体制を4病棟から3病棟体制に再編（一般病棟126床、新型コロナ患者受入病床最大25床、計151床）
12月	・院内感染の発生に伴い、発生病棟において入院制限等を実施
R5年 2～3月	・市の集団接種事業が終了したことに伴い、中央病院においても集団接種を終了 （2月中旬で成人を対象とした接種を、3月下旬で小児を対象とした接種を終了）
3月	・院内感染の発生に伴い、発生病棟において入院制限等を実施

4. 業務実績

【入院】

- ・5階病棟を新型コロナ患者専用病棟として運用していることに伴い、病院全体での1日平均患者数は107.5人/日（計画比▲38.5人/日）となり、計画を下回りました。
- ・一般病棟の1日平均患者数は100.4人/日（計画比▲8.6人/日）となり、計画を下回りました。
- ・新入院患者数は3,731人（計画比▲869人）となり計画を下回りました。
- ・入院診療単価は63,656円（計画比+10,656円）となり、計画を上回りました。

これは、新型コロナ患者に対して、診療報酬上の臨時的取扱いに基づき救急医療管理加算（症状により通常の4倍又は6倍の点数で算定可能）を算定していることが主な要因であると考えています。

※参考：コロナ患者専用病棟 診療単価 R3 67,451円 → R4 84,599円 (+17,148円)

【外来】

- ・1日平均患者数は390.4人/日（計画比▲46.6人/日）となり、計画を下回りました。
- ・外来診療単価は16,518円（計画比+518円）となり、計画を上回りました。

【その他】

- ・要請件数の増加に伴い、救急搬送受入件数は1,445件（計画比+105件）となり、計画を上回りました。
- ・院内感染に伴い入院制限を実施したことなどにより、やむを得ずお断りした事例が多数あったため、救急搬送応需率は53.7%（計画比▲33.3%）となり、計画を大幅に下回りました。
- ・満床や診療中などのやむを得ずお断りした事例を要請件数から差し引いて算出した応需率は97.8%でした。
- ・紹介件数は10,345件（計画比▲655件）、逆紹介件数は9,414件（計画比▲1,586件）となり、ともに計画を下回りましたが、前年度に比べると増加しました。

●病院全体の状況

項目	単位	R4年度			前年度実績 (R3年度)	コロナ前実績 (R1年度)	前年度比 (R4-R3)	コロナ前比 (R4-R1)	
		[実績]	[計画]	計画比					
入院	1日平均患者数	人/日	107.5	146.0	▲38.5	117.9	125.9	▲10.4	▲18.4
	うち一般病棟	人/日	100.4	109.0	▲8.6	106.8	96.9	▲6.4	+3.5
	病床稼働率(193床)	%	55.7	76.0	▲20.3	61.1	65.2	▲5.4	▲9.5
	一般病棟(144床)	%	69.7	76.0	▲6.3	74.1	67.3	▲4.4	+2.4
	新入院患者数	人	3,731	4,600	▲869	4,053	3,961	▲322	▲230
	うち一般病棟	人	3,514	3,800	▲286	3,665	3,628	▲151	▲114
	平均在院日数	日	10.5	12.0	▲1.5	10.6	11.6	▲0.1	▲1.1
	一般病棟	日	10.2	11.0	▲0.8	10.5	9.8	▲0.3	+0.4
	入院診療単価	円	63,656	53,000	+10,656	60,104	52,966	+3,552	+10,690
	一般病棟	円	62,176	58,800	+3,376	59,337	57,895	+2,839	+4,281
外来	1日平均患者数	人/日	390.4	437.0	▲46.6	386.4	406.4	+4.0	▲16.0
	うち初診患者数	人/日	46.9	-	-	43.8	48.3	+3.1	▲1.4
	外来診療単価	円	16,518	16,000	+518	16,773	15,655	▲255	+863
その他	救急搬送要請件数	件	2,691	-	-	1,838	1,466	+853	+1,225
	救急搬送受入件数	件	1,445	1,340	+105	1,125	1,176	+320	+269
	救急搬送応需率	%	53.7	87.0	▲33.3	61.2	80.2	▲7.5	▲26.5
	救急搬送応需率(補正後)*	%	97.8	-	-	77.1	87.8	+20.7	+10.0
	紹介率	%	78.1	72.0	+6.1	72.8	72.5	+5.3	+5.6
	紹介件数	件	10,345	11,000	▲655	9,589	10,182	+756	+163
	逆紹介率	%	88.1	83.0	+5.1	81.9	84.6	+6.2	+3.5
	逆紹介件数	件	9,414	11,000	▲1,586	8,581	9,484	+833	▲70

※「救急搬送応需率(補正後)」は、満床や診療中などのやむを得ずお断りした事例を要請件数から差し引いて算出した応需率です。

●診療科別の入院関連実績

診療科	項目	単位	R 4 年度 実績	前年度実績 (R 3 年度)	10ヶ月前実績 (R 1 年度)	前年度比(R 4 - R 3)		10ヶ月前比(R 4 - R 1)	
						増減	増減率	増減	増減率
内科	入院収益	千円	1,341,824	1,416,684	1,303,511	▲74,860	▲ 5.3%	+ 38,313	+ 2.9%
	入院患者数	人	23,535	25,637	27,267	▲2,102	▲ 8.2%	▲3,732	▲ 13.7%
	新入院患者数	人	1,921	2,158	2,043	▲237	▲ 11.0%	▲122	▲ 6.0%
	入院手術件数	件	501	482	472	+19	+ 3.9%	+29	+ 6.1%
外科	入院収益	千円	450,956	477,494	449,341	▲26,538	▲ 5.6%	+ 1,615	+ 0.4%
	入院患者数	人	5,043	5,891	6,112	▲848	▲ 14.4%	▲1,069	▲ 17.5%
	新入院患者数	人	446	475	422	▲29	▲ 6.1%	+24	+ 5.7%
	入院手術件数	件	414	411	385	+3	+ 0.7%	+29	+ 7.5%
整形外科	入院収益	千円	124,458	150,481	188,599	▲26,024	▲ 17.3%	▲64,141	▲ 34.0%
	入院患者数	人	2,336	3,193	4,327	▲857	▲ 26.8%	▲1,991	▲ 46.0%
	新入院患者数	人	151	168	169	▲17	▲ 10.1%	▲18	▲ 10.7%
	入院手術件数	件	122	143	147	▲21	▲ 14.7%	▲25	▲ 17.0%
小児科	入院収益	千円	98,681	90,476	142,199	+ 8,206	+ 9.1%	▲43,518	▲ 30.6%
	入院患者数	人	880	766	1,756	+114	+ 14.9%	▲876	▲ 49.9%
	新入院患者数	人	232	207	503	+25	+ 12.1%	▲271	▲ 53.9%
	入院手術件数	件	0	1	3	▲1	▲ 100.0%	▲3	▲ 100.0%
皮膚科	入院収益	千円	65,101	63,309	75,520	+ 1,792	+ 2.8%	▲10,419	▲ 13.8%
	入院患者数	人	1,460	1,588	1,964	▲128	▲ 8.1%	▲504	▲ 25.7%
	新入院患者数	人	125	130	152	▲5	▲ 3.8%	▲27	▲ 17.8%
	入院手術件数	件	60	71	75	▲11	▲ 15.5%	▲15	▲ 20.0%
泌尿器科	入院収益	千円	314,028	289,642	225,827	+ 24,386	+ 8.4%	+ 88,201	+ 39.1%
	入院患者数	人	4,436	4,230	3,651	+206	+ 4.9%	+ 785	+ 21.5%
	新入院患者数	人	463	471	399	▲8	▲ 1.7%	+ 64	+ 16.0%
	入院手術件数	件	310	292	223	+18	+ 6.2%	+ 87	+ 39.0%
眼科	入院収益	千円	55,636	65,953	51,765	▲10,317	▲ 15.6%	+ 3,871	+ 7.5%
	入院患者数	人	524	607	541	▲83	▲ 13.7%	▲17	▲ 3.1%
	新入院患者数	人	257	303	216	▲46	▲ 15.2%	+ 41	+ 19.0%
	入院手術件数	件	266	310	228	▲44	▲ 14.2%	+ 38	+ 16.7%
歯科口腔外科	入院収益	千円	42,511	44,670	14,303	▲2,159	▲ 4.8%	+ 28,208	+ 197.2%
	入院患者数	人	759	879	301	▲120	▲ 13.7%	+ 458	+ 152.2%
	新入院患者数	人	112	122	38	▲10	▲ 8.2%	+ 74	+ 194.7%
	入院手術件数	件	240	246	55	▲6	▲ 2.4%	+ 185	+ 336.4%
麻酔科	入院収益	千円	23,809	9,848	8,669	+ 13,961	+ 141.8%	+ 15,140	+ 174.7%
	入院患者数	人	251	240	155	+11	+ 4.6%	+ 96	+ 61.9%
	新入院患者数	人	24	19	19	+5	+ 26.3%	+ 5	+ 26.3%
	入院手術件数	件	18	5	11	+13	+ 260.0%	+ 7	+ 63.6%

●診療科別の外来関連実績

診療科	項目	単位	R 4 年度 実績	前年度実績 (R 3 年度)	10ヶ月前実績 (R 1 年度)	前年度比(R 4 - R 3)		10ヶ月前比(R 4 - R 1)	
						増減	増減率	増減	増減率
内科	外来収益	千円	681,482	659,581	612,541	+ 21,901	+ 3.3%	+ 68,941	+ 11.3%
	外来患者数	人	27,698	27,012	27,508	+ 686	+ 2.5%	+ 190	+ 0.7%
	紹介件数	件	2,978	2,814	2,626	+ 164	+ 5.8%	+ 352	+ 13.4%
	逆紹介件数	件	2,700	2,826	3,108	▲126	▲ 4.5%	▲408	▲ 13.1%
外科	外来収益	千円	238,009	269,481	291,241	▲31,472	▲ 11.7%	▲53,232	▲ 18.3%
	外来患者数	人	9,550	9,918	10,736	▲368	▲ 3.7%	▲1,186	▲ 11.0%
	紹介件数	件	397	372	724	+ 25	+ 6.7%	▲327	▲ 45.2%
	逆紹介件数	件	528	426	655	+ 102	+ 23.9%	▲127	▲ 19.4%
整形外科	外来収益	千円	57,622	59,060	58,271	▲1,438	▲ 2.4%	▲650	▲ 1.1%
	外来患者数	人	6,031	6,092	6,295	▲61	▲ 1.0%	▲264	▲ 4.2%
	紹介件数	件	651	631	771	+ 20	+ 3.2%	▲120	▲ 15.6%
	逆紹介件数	件	610	567	786	+ 43	+ 7.6%	▲176	▲ 22.4%
小児科	外来収益	千円	47,907	41,531	50,901	+ 6,375	+ 15.4%	▲2,994	▲ 5.9%
	外来患者数	人	4,945	4,484	5,907	+ 461	+ 10.3%	▲962	▲ 16.3%
	紹介件数	件	538	536	1,073	+ 2	+ 0.4%	▲535	▲ 49.9%
	逆紹介件数	件	155	119	544	+ 36	+ 30.3%	▲389	▲ 71.5%
皮膚科	外来収益	千円	87,998	82,701	92,817	+ 5,296	+ 6.4%	▲4,820	▲ 5.2%
	外来患者数	人	8,626	8,724	10,261	▲98	▲ 1.1%	▲1,635	▲ 15.9%
	紹介件数	件	904	755	855	+ 149	+ 19.7%	+ 49	+ 5.7%
	逆紹介件数	件	572	464	641	+ 108	+ 23.3%	▲69	▲ 10.8%
泌尿器科	外来収益	千円	171,510	165,417	157,523	+ 6,093	+ 3.7%	+ 13,987	+ 8.9%
	外来患者数	人	11,197	10,895	10,442	+ 302	+ 2.8%	+ 755	+ 7.2%
	紹介件数	件	605	588	496	+ 17	+ 2.9%	+ 109	+ 22.0%
	逆紹介件数	件	799	621	422	+ 178	+ 28.7%	+ 377	+ 89.3%
眼科	外来収益	千円	40,885	52,679	64,444	▲11,794	▲ 22.4%	▲23,559	▲ 36.6%
	外来患者数	人	4,549	5,561	7,450	▲1,012	▲ 18.2%	▲2,901	▲ 38.9%
	紹介件数	人	195	186	182	+ 9	+ 4.8%	+ 13	+ 7.1%
	逆紹介件数	人	227	224	213	+ 3	+ 1.3%	+ 14	+ 6.6%
歯科口腔外科	外来収益	千円	61,058	52,625	31,797	+ 8,433	+ 16.0%	+ 29,260	+ 92.0%
	外来患者数	人	5,977	5,177	3,372	+ 800	+ 15.5%	+ 2,605	+ 77.3%
	紹介件数	件	960	832	633	+ 128	+ 15.4%	+ 327	+ 51.7%
	逆紹介件数	件	885	616	413	+ 269	+ 43.7%	+ 472	+ 114.3%
麻酔科	外来収益	千円	69,463	59,215	50,762	+ 10,249	+ 17.3%	+ 18,702	+ 36.8%
	外来患者数	人	8,708	7,748	7,988	+ 960	+ 12.4%	+ 720	+ 9.0%
	紹介件数	件	214	171	171	+ 43	+ 25.1%	+ 43	+ 25.1%
	逆紹介件数	件	88	68	99	+ 20	+ 29.4%	▲11	▲ 11.1%

5. 経営改革プランの取組の実施状況

●評価基準

<中央病院の自己評価>

評価	内 容
5	計画を大幅に上回っている
4	計画を上回っている
3	計画どおりである
2	計画を下回っている
1	計画を大幅に下回っている

<審議会の評価>

評価	内 容
A	計画に対して具体的に取組んでおり、
B	計画に対して具体的に取組んでおり、
C	計画に対する取組はあるものの、十分な成果が現れていない
D	計画に対する取組が不十分である

●医療サービスの向上に向けた取組

(1) 急性期病院としての機能充実

経営改革プランの 主な取組方針	関連指標など	コロナ禍前実績 (R1年度)	前年度実績 (R3年度)	R4年度		病院の自己評価		審議会の評価	
				実績	計画	R3年度	R4年度	R3年度	R4年度
①がん医療の充実						4	3	A	
<ul style="list-style-type: none"> 集学的治療の充実 がん相談支援体制の充実 がん連携パスの利用推進 	<ul style="list-style-type: none"> がん手術件数 放射線治療実施件数 化学療法実施件数 がん支援相談受付件数 患者の会開催状況 がん連携パス使用件数 	250件	315件	296件	310件	<自己評価の理由、分析など> がん手術件数は、計画を下回りましたが、新型コロナ等の院内感染に伴い複数回の入院受入制限を行ったなかで、計画と同水準を確保できていると考えています。がん連携パスについては、一般的な紹介・逆紹介の枠組みの中で、地域の医療機関等と連携を図ったことから使用はありませんでした。			
②救急医療の充実						2	3	B	
<ul style="list-style-type: none"> 輪番体制の維持・強化 救急患者受入基準の明確化 	<ul style="list-style-type: none"> 救急搬送要請件数 救急搬送受入件数 - 小児科 救急搬送応需率 救急搬送応需率(補正後) 	1,466件	1,838件	2,691件	-	<自己評価の理由、分析など> 応需率は計画を大幅に下回りましたが、受入件数は計画を上回りました。応需率の減少については、新型コロナ感染拡大時(第7、8波)に要請件数が増加し、満床や診療中などやむを得ずお断りした事例が多数発生したことが要因の一つとして挙げられます。			
※「救急搬送応需率(補正後)」は、満床や診療中などのやむを得ずお断りした事例を要請件数から差し引いて算出した応需率です。									
③質の高い医療を提供するための体制・設備の整備						3	3	B	
<ul style="list-style-type: none"> 低侵襲治療の推進 HCUのさらなる活用 チーム医療の推進 クリニカルパスの活用 	<ul style="list-style-type: none"> 内視鏡手術件数 腹腔鏡手術件数 胸腔鏡手術件数 循環器系手術件数 ダヴィンチ手術件数 リハビリの実施件数 クリニカルパス適用率 	558件	565件	641件	-	<自己評価の理由、分析など> 新型コロナ等の院内感染に伴い複数回の入院受入制限を行ったなかで、全体的に前年度以上の実績を確保できました。循環器系手術件数の減少については、医師数の減少(R3:4人→R4:3人)が要因の一つとして挙げられます。また、ダヴィンチ手術については、泌尿器科に加えて、令和4年度から消化器外科(結腸)での使用を開始しています。			

(2) 地域医療への貢献

経営改革プランの 主な取組方針	関連指標など	コロナ禍前実績 (R1年度)	前年度実績 (R3年度)	R4年度		病院の自己評価		審議会の評価	
				実績	計画	R3年度	R4年度	R3年度	R4年度
①地域の医療機関などとの役割分担・連携強化						2	3	B	
・地域の医療機関などとの役割分担・連携強化	・紹介件数 ・逆紹介件数 ・診療所訪問件数	10,182件 9,484件 176件	9,589件 8,581件 120件	10,345件 9,414件 67件	11,000件 11,000件 200件	<自己評価の理由、分析など> 紹介及び逆紹介件数は、計画を下回りましたが、前年度実績を上回りました。診療所訪問については、新型コロナウイルス感染拡大時や院内感染時に一時中断したため、件数が減少しました。			
②地域包括ケアシステムの構築を念頭に置いた取組						3	3	B	
・医療と介護の連携推進 ・認知症患者への対応充実 ・地域包括ケア病棟の充実	・入退院支援加算 ・介護支援等連携指導料 ・退院時共同指導料 ・認知症ケア加算算定件数 ・地域包括ケア病棟稼働率	420件 109件 65件 10,874件 59.2%	452件 30件 35件 7,639件 -	507件 24件 27件 7,048件 -	- - - - 76%	<自己評価の理由、分析など> 介護支援等連携指導料及び退院時共同指導料については、コロナ禍でケアマネジャーとの対面でのカンファレンスができなかった時期があったため前年度実績を下回りました。なお、地域包括ケア病棟については、診療報酬におけるコロナ禍の特例が廃止され施設基準を満たせなくなったため、令和5年3月に届出を取り下げました。			
③地域の中核病院としての貢献						3	4	B	
・地域医療の中核を担う体制の維持・向上 ・画像診断のさらなる要請への対応 ・地域の医療従事者も参加可能な院内研修の実施	・紹介率 ・逆紹介率 ・MRI撮影件数 - 紹介件数 ・CT撮影件数 - 紹介件数 ・地域の医療従事者の研修等の参加人数	72.5% 84.6% 4,506件 1,810件 7,161件 815件 11回 91人	72.8% 81.9% 4,485件 1,831件 7,834件 850件 3回 57人	78.1% 88.1% 4,507件 1,943件 8,124件 915件 3回 37人	72% 83% - - - - - -	<自己評価の理由、分析など> 紹介率及び逆紹介率は、計画及び前年度実績を上回りました。MRI及びCTの撮影件数のうち、紹介件数は前年度実績を上回りました。			
④地域に不足する医療機能への対応						4	3	A	
・皮膚科、眼科、歯科口腔外科を有する病院として地域医療への貢献	・皮膚科の診療実績 - 新入院患者数 - 入院手術件数 ・眼科の診療実績 - 新入院患者数 - 入院手術件数 ・歯科口腔外科の診療実績 - 新入院患者数 - 入院手術件数	152人 75件 216人 228件 38人 55件	130人 71件 303人 310件 122人 246件	125人 60件 257人 266件 112人 240件	- - - - - -	<自己評価の理由、分析など> 全体的に前年度と同水準の実績を確保できました。眼科については、年度途中での医師の退職の影響もあり、実績が落ち込みました。			
⑤生涯教育の充実						2	2	C	
・市民の生涯教育の充実	・市民健康講座 (Web配信の実施) ・ワンポイントセミナー(FMラジオ) ・糖尿病教室 ・病院体験フェア	年5回 - 年24回 年33回 年1回	年0回 年2回 年12回 年0回 年0回	年0回 年2回 年11回 年0回 年0回	隔月開催 - 月2回 週1回 1回以上	<自己評価の理由、分析など> コロナ禍の影響により、不特定多数の来場が見込まれる各種イベントは開催を見送っています。市民健康講座の代替措置としてホームページ上でのWeb配信を実施していますが、2回の実施にとどまりました。			

(3) 患者サービスの向上

経営改革プランの 主な取組方針	関連指標など	コロナ禍前実績 (R1年度)	前年度実績 (R3年度)	R4年度		病院の自己評価		審議会の評価	
				実績	計画	R3年度	R4年度	R3年度	R4年度
①職員への意識啓発						3	3	B	
・ 接遇への意識の向上 ・ 医療安全に関する意識の向上	・ 接遇研修 ・ 患者アンケートの実施 ・ インシデント発生状況 - 報告件数 - 報告率 (報告数/入院患者延べ数)	1回 2回 1,040件 2.25%	1回 2回 1,053件 2.45%	1回 2回 1,197件 3.05%	1回以上 3回以上 -		<自己評価の理由、分析など> 医療安全に関する意識の醸成が図られ、インシデント報告率は前年度実績を上回りました。		
②情報発信の強化						3	3	B	
・ ホームページ等を活用した積極的な情報発信 ・ 地域の医療機関への情報発信の強化	・ 「中央病院だより」の発行 ・ メーリングリストでの情報発信回数	12件 -	12件 10回	12件 11回	毎月発行 -		<自己評価の理由、分析など> 市民健康講座のWeb配信や、メーリングリストを活用した情報発信を継続実施しています。		
③療養環境の改善						3	3	B	
・ 患者を不快にさせない療養環境の維持、改善	・ 施設、設備の改修実績	103件	65件	66件	-		<自己評価の理由、分析など> 当面の機能維持に必要な大規模な改修は令和元年度までに概ね完了し、現在は必要最低限の改修を行っています。		

(4) 危機管理体制の充実

経営改革プランの 主な取組方針	関連指標など	コロナ禍前実績 (R1年度)	前年度実績 (R3年度)	R4年度		病院の自己評価		審議会の評価	
				実績	計画	R3年度	R4年度	R3年度	R4年度
①災害時医療への対応						3	3	B	
・ 災害発生時の患者受入訓練	・ 訓練の実施回数	1回	1回	1回	1回以上		<自己評価の理由、分析など> 災害発生を想定した訓練を毎年度実施しています。		

(5) 職員の意識改革と組織変革

経営改革プランの 主な取組方針	関連指標など	コロナ禍前実績 (R1年度)	前年度実績 (R3年度)	R4年度		病院の自己評価		審議会の評価	
				実績	計画	R3年度	R4年度	R3年度	R4年度
①職員のアクティビティとモチベーションの向上						3	3	B	
・ 業績報告会、職員表彰制度の充実 ・ ガッツジョブ & サクスカードの活用 ・ 医師の働き方改革の推進 ・ 医師の貢献度を給与に反映する仕組みの導入の検討	・ 業績報告会の実施回数 ・ 職員表彰制度の実施回数 ・ ガッツジョブ & サクスカード投票数 ・ 医師の成果主義導入検討	1回 1回 22件 -	1回 1回 190件 未実施	1回 1回 198件 未実施	1回以上 1回以上 -		<自己評価の理由、分析など> 業績報告会等の取組を継続実施しています。医師の成果主義導入検討については、市の目標管理制度に準じ、医師等の目標に対する到達度や業績内容が次年度の給与(賞与)に反映される仕組みを令和5年度から導入します。		
②組織の活性化						3	3	A	
・ 職員全員が病院全体の目標を共有する仕組みの充実	・ 部門別ヒアリング実施回数 ・ 事業管理者メッセージ	2回 -	2回 26回	2回 26回	- -		<自己評価の理由、分析など> 部門別ヒアリングの実施や事業管理者からの全職員へのメッセージ配信などの取組を継続実施しています。		

●経営の健全化に向けた取組

(1) 病床稼働率の向上

経営改革プランの 主な取組方針	関連指標など	コロナ禍前実績 (R1年度)	前年度実績 (R3年度)	R4年度		病院の自己評価		審議会の評価	
				実績	計画	R3年度	R4年度	R3年度	R4年度
①地域の医療機関などとの連携強化による医療機能の利用促進						2	2	B	
・診療所訪問などを通じた診療所との連携強化	・新入院患者数 - 紹介から - 救急から - 上記以外	3,961人 1,923人 474人 1,564人	4,053人 1,870人 475人 1,708人	3,731人 1,803人 501人 1,427人	4,600人 - - -	<自己評価の理由、分析など> 新入院患者数は、計画及び前年度実績を下回りました。新型コロナウイルス等の院内感染に伴い、複数回の入院受入制限を行ったことが主な要因として挙げられます。			
②地域包括ケア病棟の利用促進						-	-	-	-
・在宅患者の受入等による利用促進	・地域包括ケア病棟稼働率	59.2%	-	-	76%	<自己評価の理由、分析など> 令和2年8月から地域包括ケア病棟は新型コロナウイルス患者専用病棟として運用していることから、当該項目については評価不能(-)としています。なお、地域包括ケア病棟については、診療報酬におけるコロナ禍の特例が廃止され施設基準を満たせなくなったため、令和5年3月に届出を取り下げました。			
③緩和ケア病床の利用促進						-	-	-	-
・利用しやすい環境整備	・緩和ケア患者数 (緩和ケアチームの新規対応件数) ・緩和ケア病床稼働率	6人 76.9%	5人 89.2%	7人 85.3%	- -	<自己評価の理由、分析など> 緩和ケア病床(2床)については、これまでの利用実績や一般病棟の稼働病床数の不足等の状況に鑑み、積極的な利用促進を改め、個々の患者のニーズに応じて活用していくことにしました。したがって、当該項目については評価不能(-)としています。			
④病床稼働率確保に向けた体制の整備						3	2	B	
・診療科リアクタの充実 ・病床稼働率向上に向けた取組を検討する仕組みの構築	・病床稼働率(193床) - 一般病棟(144床) - 一般病棟(稼働病床ベース) <一般病棟の稼働病床数の経過(令和4年度)> 4月～11月:127床 12月～3月:126床	65.2% 67.3% 67.3%	61.1% 74.1% 89.6%	55.7% 69.7% 84.8%	76% 76% -	<自己評価の理由、分析など> 新型コロナウイルス患者専用病棟を設置していることから、病院全体での病床稼働率は計画を下回りました。一般病棟の病床稼働率についても、新型コロナウイルス等の院内感染に伴い複数回の入院受入制限を行ったため、計画を下回りました。なお、令和4年12月には人員を効率的に活用し、新型コロナウイルス患者及び一般患者の入院受入に対応するため、病棟体制を4病棟から3病棟体制に再編しました。			

(2) 診療単価の増加

経営改革プランの 主な取組方針	関連指標など	コロナ禍前実績 (R1年度)	前年度実績 (R3年度)	R4年度		病院の自己評価		審議会の評価	
				実績	計画	R3年度	R4年度	R3年度	R4年度
①適切な診療報酬の確保						4	4	B	
・診療報酬加算の取得、 維持	・入院診療単価 - 一般病棟 - 新型コロナ患者専用病棟 ・外来診療単価	52,966円 57,895円 36,499円 15,655円	60,104円 59,337円 67,451円 16,773円	63,656円 62,176円 84,599円 16,518円	53,000円 58,800円 - 16,000円	<自己評価の理由、分析など> 診療単価は入院、外来ともに計画を上回りました。入院については、新型コロナ患者専用病棟での単価上昇による影響が大きく、これは新型コロナ患者に対して、診療報酬上の臨時的取扱いに基づき救急医療管理加算の算定を継続していることが主な要因であると考えています。			

(3) 費用の適正化

経営改革プランの 主な取組方針	関連指標など	コロナ禍前実績 (R1年度)	前年度実績 (R3年度)	R4年度		病院の自己評価		審議会の評価	
				実績	計画	R3年度	R4年度	R3年度	R4年度
①診療材料費の適正化						3	3	B	
・安価な同種同効品への 切り替え促進	・材料費対医業収益比率 ・診療材料費対医業収益比率 - 診療材料費 (百万円)	25.7% 8.2% 372	25.9% 8.8% 409	25.3% 8.4% 382	25% 8.4% 427	<自己評価の理由、分析など> 診療材料については、現場に対して安価な同種同効品への切替の提案を継続的に行い、メーカー間の競争を促すことで単価の引下げを行うなどの取組みを実施しています。令和4年度においては、約185万円の削減効果がありました。			
②後発医薬品の積極的な利用						4	4	A	
・後発医薬品の積極利用 ・パオシミア使用促進	・後発医薬品の使用割合 ・パオシミア使用実績 - 購入額 (千円) - 採用品目数	83.7% 175千円 5品目	88.1% 2,896千円 9品目	87.8% 7,983千円 9品目	85%以上 - -	<自己評価の理由、分析など> 後発医薬品の使用割合は計画を上回りました。なお、令和5年6月から後発医薬品使用体制加算2から同加算1（施設基準で同割合90%必要）に届出を変更しています。			
③職員給与対医業収益比率の改善						2	2	B	
・適正な職員給与費の 維持・改善	・職員給与費 ^{※1} 対医業収益比率 ・職員給与費 ^{※1} 対経常収益比率 - 職員給与費 ^{※1} (百万円) ※1 給与費から非正規職員の人件費等を除き、事務職給与負担金を加えて算出しています。 参考) R5年度のプラン見直しを踏まえた指標 ・職員給与費 ^{※2} 対修正医業収益比率 ・職員給与費 ^{※2} 対経常収益比率 - 職員給与費 ^{※2} (百万円) ※2 決算統計に計上している職員給与費(非正規職員の人件費等を含む)に事務職給与負担金を加えて算出しています。	60.2% 51.7% 2,719 84.2% 68.0% 3,581	54.6% 36.1% 2,551 76.3% 47.4% 3,356	56.7% 40.3% 2,596 79.8% 53.5% 3,445	52.0% 46.0% 2,647 - - -	<自己評価の理由、分析など> 職員給与費は計画を下回りましたが、医業収益及び経常収益に対する比率においては計画を上回っています。医業収益のさらなる向上に努めることで、比率の改善を図っていきます。			